



RADEON™ VE

MACROVISION 製品についての情報

- A. 装置クレームのアメリカ合衆国特許番 4,631,603、4,577,216、4,819,098、および 4,907,093 は、限定された視聴ユーザーにのみ許諾されています。
- B. 製品に伴う付随的な印刷物において、次に示す注意事項を適切な箇所に明記する必要があります。

この製品には Macrovision Corporation およびその他の権利所有者が所有するアメリカ合衆国特許とその他の知的所有権により保護されているコピープロテクションテクノロジーが利用されています。このコピープロテクションテクノロジーの利用は、Macrovision が書面により認証した場合を除き、必ず Macrovision に認証されていなければならず、家庭およびその他の限定された条件でのみ利用できます。リバースエンジニアリングおよび分解は禁止されています。

P/N: 137-40233-10

ATI および RADEON は、ATI Technologies Inc. の登録商標です。Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。製品は図と異なる場合があります。機能、性能、および仕様は、予告無く変更する場合があります。

Copyright © ATI Technologies Inc. 2000. All rights reserved.

Printed in Canada



マルチモニタの 使い方

RADEON™ VE は、1つのビデオカードからデュアルディスプレイ機能と TV Out 機能を提供します。この新しいテクノロジーは PC、TV、ビデオグラフィックスの表示を改善します。

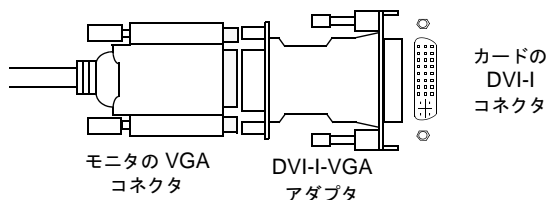
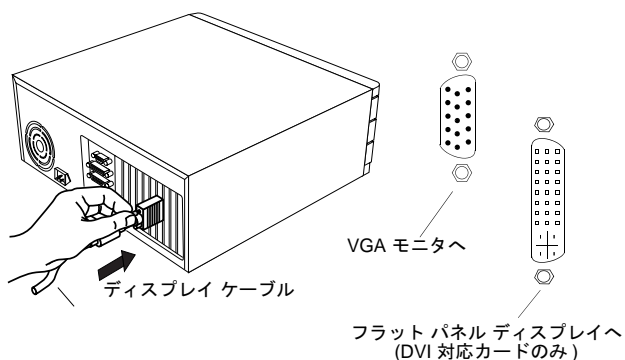
RADEON™ VE は ATI® HydraVision™ ソフトウェアを使用して、シームレスなマルチディスプレイデスクトップを実現します。マルチモニタディスプレイは、大きな1つの作業エリアとして機能します。1つのアプリケーションを全モニタに広げたり、複数のアプリケーションを特定のモニタに占有させたりすることができます。この機能は、PCのグラフィックスやビデオ性能を次の水準へ引き上げます。

RADEON™ VE とモニタの接続

RADEON™ VE は付属の DVI-I-VGA アダプタにより、1台の DVI-I モニタ、もしくは2台の VGA モニタをサポートします。また、S-ビデオコネクタを使ってテレビを PC に接続することも可能です。

モニタケーブルをカードに取り付けて (マルチモニタを使用している場合は、ケーブルを各コネクタへ取り付けます)、コンピュータとモニタの電源を入れます。

RADEON™ VE をフラットパネルに接続するには、次に示すように DVI-I コネクタを使用します。VGA モニタを DVI-I コネクタに接続するには、付属の DVI-I-VGA アダプタを DVI-I コネクタに取り付けてから、モニタケーブルをアダプタに接続してください。



Windows® 98 / Windows® 2000 による ATI HydraVision™ の使用

Windows®98 および Windows®2000 は、1つのシステムでマルチモニタを認識します。特に、ATI® HydraVision™ ソフトウェアは Windows®98 および Windows®2000 で使用するよう設計されています。ATI® HydraVision™ をインストールすると Desktop Manager が有効になり、ATI® HydraVision™ 画面管理ソフトウェアの Windows® プログラム グループが作成されます。

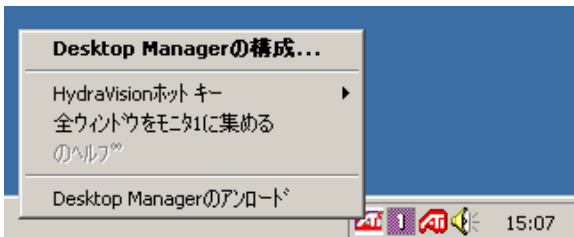
ATI® HydraVision™ と Desktop Manager は、Windows® が起動されると有効になります。Windows® システム トレーに ATI® HydraVision™ アイコンが表示されていれば、ATI® HydraVision™ が起動していることを確認できます。

ATI® HydraVision™ アイコン



ATI® HydraVision™ システム トレー アイコン

このアイコンを右クリックして、ATI® HydraVision™ 機能やヘルプを使用したり、ATI® HydraVision™ Desktop Manager をアンロードします。また、Windows® の [スタート] - [プログラム] からアクセスすることもできます。



ATI® HydraVision™

ATI® HydraVision™ Desktop Manager を使って、画面オプションを変更することができます。Desktop Manager の該当するタブをクリックして、[デスクトップ管理] および [ホットキー] ダイアログボックスにアクセスします。

各 ATI® HydraVision™ ダイアログの下部には次の4つのボタンがあります: [OK]、[キャンセル]、[適用]、[ヘルプ]

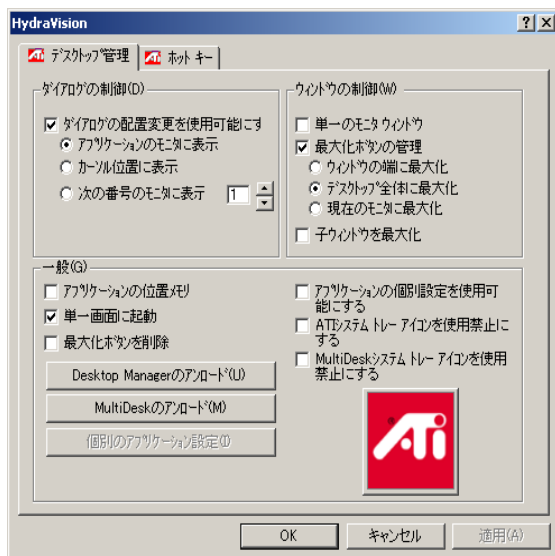
OK: ATI® HydraVision™ で行った変更を適用し、Desktop Manager を終了します。再起動を促すメッセージが表示されない限り、変更はすぐに反映されます。

キャンセル: ATI® HydraVision™ ダイアログで行ったすべての変更を破棄して、Desktop Manager を閉じます。

適用: Desktop Manager を閉じずに変更を適用します。

ヘルプ: ローカル、またはオンラインの HTML ベースのヘルプに接続します。各コントローラに関連したテキスト上にマウスを移動して、状況依存ヘルプを表示することもできます。

デスクトップ管理コントロール



[デスクトップ管理] ダイアログ

[デスクトップ管理] ダイアログで、マルチモニタ環境のポップアップウィンドウとダイアログボックスの動作を設定します。

ダイアログの制御：

ダイアログの配置変更を使用可能にする—ダイアログの制御をオン・オフで切り替えます。このボックスがチェックされていると、親アプリケーションのモニタにダイアログボックスを表示できます(親アプリケーションとはダイアログボックスを生成するアプリケーションです)。親アプリケーション、または関連付けられたモニタが見つからない場合、ダイアログボックスはモニタ1に設定されます。また、カーソルの位置するモニタにダイアログボックスを表示したり、常に特定のモニタに表示させることもできます。

ウィンドウの制御：

単一のモニタ ウィンドウ—このボックスがチェックされていると、ウィンドウは1つのモニタに表示されます。モニタにまたがったウィンドウは、そのウィンドウがより大きく表示されているモニタへ自動的に移動します。

ATI® HydraVision™ 最大化/復元—Windows®の [最大化] ボタンの動作を制御できます。ATI® HydraVision™ が起動されていると、ATI® HydraVision™ アイコンがアプリケーションのタイトルバーの右上に表示されます。このアイコンをクリックすると、次のいずれかの方法でアクティブ ウィンドウを最大化します:

– **ウィンドウの端に最大化** ウィンドウの左上と右下の端が含まれるモニタにウィンドウを最大化します。

– **デスクトップ全体に最大化** すべてのモニタを含む全体にウィンドウを最大化します。

子ウィンドウを最大化—親アプリケーションによって生成されたウィンドウをモニタにまたがらないようにします (子ウィンドウとは親アプリケーション ウィンドウ内に表示されるウィンドウです)。最大化されたとき、1つのモニタに子ウィンドウを表示すると、親アプリケーションで並列した複数の文書を編集する場合に大変役立ちます。

☞ *注意:* ウィンドウがATI® HydraVision™ で最大化されると、ATI® HydraVision™ アプリケーションのタイトルバーのアイコンは、1つの正方形から2つの小さな正方形に変わります。アイコンを再度クリックすると、アクティブウィンドウがデフォルトの状態に復元され、1つの正方形になります。

一般:

アプリケーションの位置メモリー—このボックスをチェックすると、アプリケーション ウィンドウを閉じたときのサイズと位置を「記憶」します。アプリケーションが再起動されると、この設定が適用されます。

複数のモニタ位置を自動的に揃える—Windows®98 では、[画面のプロパティ] ダイアログ ボックスの [設定] からモニタの位置を手動で定義できます。このボックスをチェックすると、モニタが均等に揃っていない場合、ユーザー定義されたモニタの位置はATI® HydraVision™ によって上書きされます。

☞ *注意:* この制御は、すべてのモニタが同じ解像度であり、デスクトップが長方形(並列したモニタ)に設定されている場合のみ適用されます。

アプリケーションの個別設定を使用可能にする—このボックスをチェックすると、個別のアプリケーションに対してデスクトップ管理の設定を指定することができます。アプリケーションのタイトルバーにあるATI® HydraVision™ アイコンの下矢印をクリックするか、[デスクトップ管理] ダイアログの [個別のアプリケーション設

定] ボタンをクリックして、これらの設定にアクセスすることができます。

ATI® HydraVision™ システム トレー アイコンを使用禁止にする—このボックスは、ATI® HydraVision™ のシステム トレー アイコンを削除、または復元します。

MultiDesk システム トレー アイコンを使用禁止にする—このボックスは、MultiDesk の トレー アイコンを削除、または復元します。

Desktop Manager のロード/アンロード—このボタンは、ATI® HydraVision™ Desktop Manager トラッキングプログラムを復元、または削除します。Desktop Manager をアンロードすると、ディスプレイ設定が Windows®98 のデフォルト設定値に戻ります。マルチモニタ ダイアログ ボックスとウィンドウの制御、またはホット キーを使用したくない場合のみ、このオプションを選択してください。

☞ *注意: [アンロード] は、現在使用中の Windows®98 のセッションにのみ適用されます。Windows®98 が再起動されると、Desktop Manager はリロードされます。*

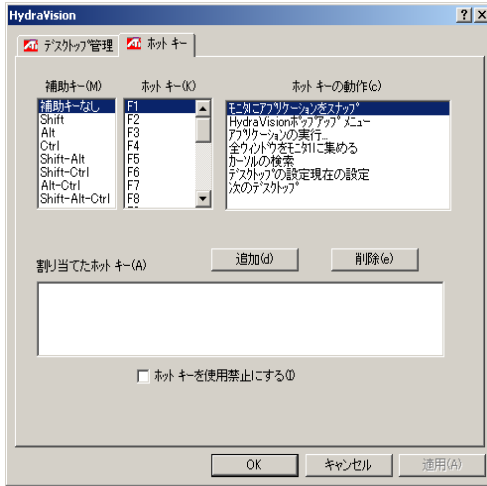
MultiDesk のロード/アンロード—このボタンは、マルチ デスクトップ機能を復元、または削除します。

☞ *注意: [アンロード] は、現在使用中の Windows®98 のセッションにのみ適用されます。Windows®98 が再起動されると、MultiDesk はリロードされます。*

アプリケーションの個別設定—このボタンは、個別のアプリケーションに対してデスクトップ管理の設定を指定、および有効/無効にできます。

☞ *注意: これらの設定は、[デスクトップ管理] ダイアログで定義されたグローバルな設定を上書きします。*

ホット キー コントロール



[ホット キー] ダイアログ

ATI® HydraVision™ では、アプリケーションの起動、特定のモニタへのスナップ、ディスプレイ解像度の変更など、一般的な操作にホット キー ショートカットを指定することができます。

ホット キーの作成 / 削除

カスタム ホット キーを作成するには、**補助キー** (Shift、Alt など)、**ホット キー**、実行する**ホット キーの機能**を選択します。[**追加**] をクリックして、新しい組み合わせを [**割り当てたホット キー**] リスト ボックスに入力します。そして、[**適用**] をクリックして、割り当てたホット キーを有効にします。

注意: ファンクション キー (F1、F2 など) をホット キーとして割り当てて補助キーと使用することを推奨します。これは、各アプリケーションでこれらのキーに設定された機能との干渉を避けるためです。

[**割り当てたホット キー**] リスト ボックスからホット キーを削除するには、ホット キーをハイライトし、[**削除**] をクリックしてから、[**適用**] をクリックします。

また、[**ホット キー**] ダイアログの下部にある [**ホット キーを使用禁止にする**] ボックスをチェックして、[**割り当てたホット キー**] リスト ボックスにある全ホット キーを無効にすることもできます。

ホット キーの使用

割り当てられたホット キーをあらゆるアプリケーションから使用して画面を変更することができます。

提供されるホット キーの機能を示します：

モニタにアプリケーションをスナップ— アクティブ ウィンドウやダイアログをモニタから別のモニタに移動したり、「スナップ」して素早く配置したり、デスクトップの内容を表示します。

ATI® HydraVision™ ポップアップ メニュー—ATI® HydraVision™ コントロールに素早くアクセスします。

アプリケーションの実行— ホット キーでアプリケーションを起動できます。

全ウィンドウをモニタ 1 に集める— 無効のモニタに隠れていたり、または開いていても見失ったアプリケーションを見つけます。

カーソルの検索—色々と表示されているデスクトップからカーソルを見つけます。

次のデスクトップ— 他のアクティブ デスクトップにアクセスします。

画面の拡大 / 縮小— デスクトップの解像度を上げたり、落としたりします。

モニタで拡大 / 縮小— アクティブ モニタの解像度を上げたり、落としたりします。

MultiDesk

ATI® HydraVision™ ソフトウェアは、マルチ デスクトップをサポートしています。MultiDesk を使用すると、1 つのアクティブ デスクトップが常に表示され、8 つまでのアクティブ デスクトップをバググラウンドに表示できます。MultiDesk が起動している場合、システム トレーの MultiDesk アイコンに現在のデスクトップに割り当てられた数が表示されます。

ATI® HydraVision™ MultiDesk
アイコン



MultiDesk システム トレー アイコン

このアイコンを右クリックして MultiDesk コントロールにアクセスします。また、**ホット キー** ショートカットでアクティブ デスクトップにアクセスすることも可能です。



MultiDesk ポップアップメニュー

定義された別のデスクトップに切り替えるには、ポップアップメニューから該当するデスクトップ番号を選択します。アクティブ デスクトップを有効 / 無効にしたり、名前を設定するには、ポップアップメニューから [MultiDesk プロパティ] を選択します。アクティブ デスクトップ内でアプリケーションを配置したり、特定のアプリケーションを全デスクトップで有効にするには、ポップアップメニューから [MultiDesk の配置] を選択します。

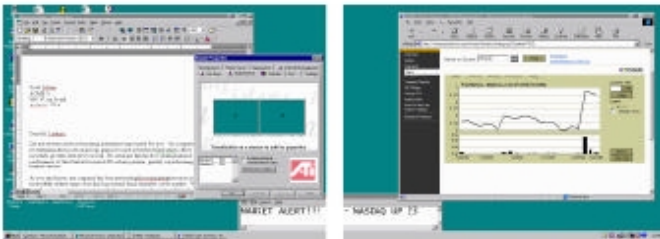
ポップアップメニューの [MultiDesk のアンロード] を選択すると、MultiDesk 機能は削除されます。

☞ 注意: これは、現在使用中の Windows® セッションにのみ適用されます。Windows® が再起動されると、MultiDesk はリロードされます。

Windows® NT による ATI HydraVision™ の使用

☞ **注意:** ATI ソフトウェアのバージョン7.50 およびそれ以降は Windows® NT をサポートしています。

ATI® HydraVision™ ソフトウェアは、RADEON™ VE グラフィック カードおよびデバイス ドライバと共にシームレスなマルチモニタ デスクトップを実現します。ATI® HydraVision™ は、複数のモニタを RADEON™ VE グラフィック カードに接続して、複数の小さな画面を表示する代わりに、1 つの大きな画面として表示することを可能にします。1 つのアプリケーションをすべてのモニタに広げて表示したり、異なるアプリケーションをそれぞれのモニタに表示することができます。



デュアル モニタ

上の図では、4 つのアプリケーションを 2 つのモニタで表示しています。デスクトップとアプリケーションは両方のモニタにわたって表示されています。ATI® HydraVision™ は、マルチモニタ デスクトップ上のあらゆる場所からアプリケーション ウィンドウのドラッグ、ドロップ、およびサイズの変更を可能にします。

ウィンドウやダイアログ ボックスがモニタにまたがって表示されたり、不適当な場所に表示された場合、Windows® でマルチモニタを使用するのは不便です。ATI® HydraVision™ Desktop Manager では、ウィンドウおよびダイアログ ボックスの位置を設定することで、この問題を解決します。

Windows® NT 4.0 に ATI® HydraVision™ をインストールすると、Desktop Manager が有効になり、ATI® HydraVision™ 画面管理ソフトウェアが Windows® コントロール パネルグループに追加され、[画面のプロパティ] ダイアログ ボックスに追加タブとして表示されます。ATI® HydraVision™ コントロール パネルから、Desktop Manager および他の画面オプションを調節することができます。

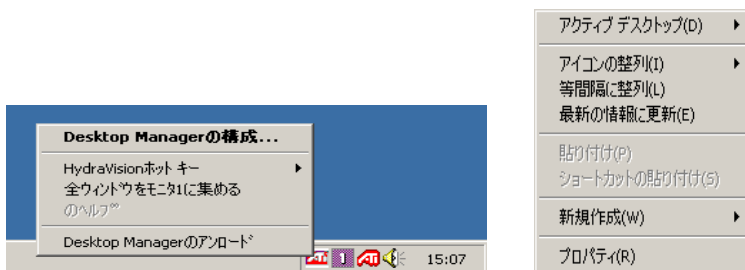
Desktop Manager は Windows® と共に自動的に起動されます。Windows® システム トレーに ATI® HydraVision™ アイコンが表示されていれば、ATI® HydraVision™ が起動していることを確認できます。

ATI® HydraVision™ アイコン con



ATI® HydraVision™ システム トレー アイコン

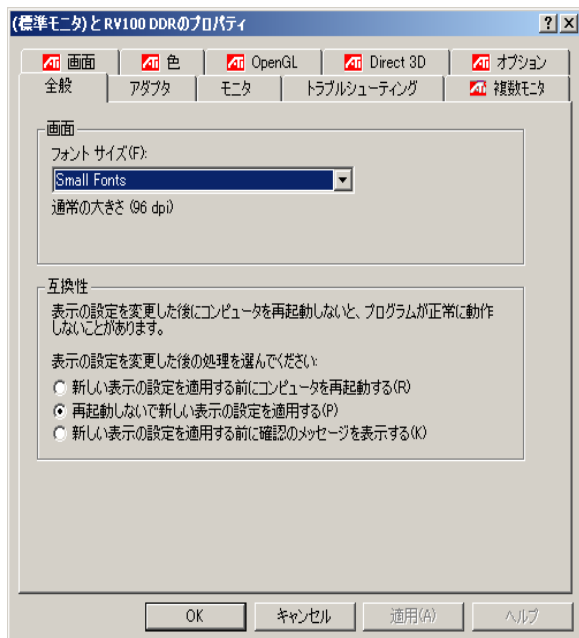
このアイコンを右クリックして、ATI® HydraVision™ 機能やヘルプを使用したり、ATI® HydraVision™ Desktop Manager をアンロードします。また、Windows® のデスクトップ上で右クリックして、[プロパティ] を選択して ATI® HydraVision™ にアクセスすることもできます。



Windows® NT 4.0 の ATI HydraVision™

ATI® HydraVision™ Desktop Manager を使って、ホットキーのような画面オプションを使いやすいグラフィック インターフェイスで調節することができます。

☞ 注意: アプリケーション ウィンドウやダイアログボックスによっては、Windows® の標準に沿っていません。ATI® HydraVision™ は、そのようなアプリケーション ウィンドウやダイアログボックスを認識したり、制御することができない場合があります。



[画面のプロパティ] ダイアログボックス

上の図は、ATI® HydraVision™ のタブが付加された Windows® の [画面のプロパティ] ダイアログボックスです。アナログディスプレイ用にデスクトップの解像度や色数を変更する [設定] タブなど、通常の [画面のプロパティ] タブはすべて使用できます。

ATI® HydraVision™ のタブ (複数モニタ、デスクトップ管理、ホットキー タブ) では、画面オプションを変更できます。

また、ATI® HydraVision™ には [複数モニタ] タブから起動する拡張画面コントロール用のダイアログが用意されています。[拡張画面設定] ダイアログでは、各モニタを個別に定義したり、調節することが可能です。

各 ATI® HydraVision™ ダイアログの下部には次の4つのボタンがあります: [OK]、[キャンセル]、[適用]、[ヘルプ]

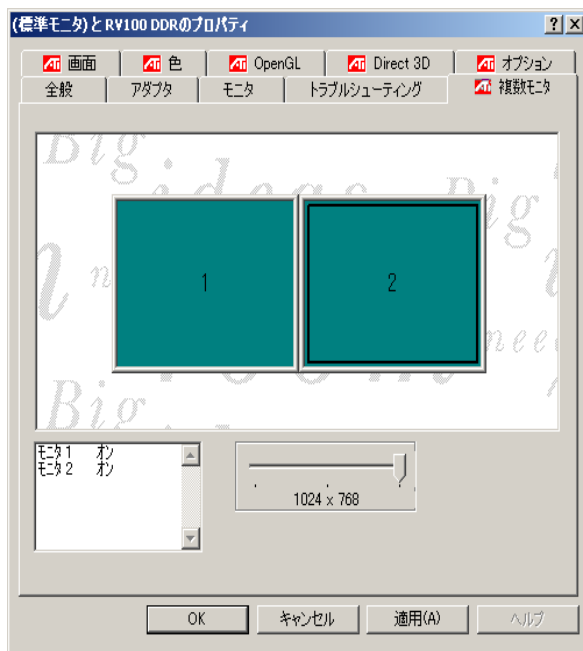
OK: [画面のプロパティ] ダイアログボックスで行った変更を適用し、コントロールパネルを終了します。再起動を促すメッセージが表示されない限り、変更はすぐに反映されます。

キャンセル: [画面のプロパティ]で行ったすべての変更を破棄して、ダイアログボックスを閉じます。

適用: [画面のプロパティ] ダイアログボックスを閉じずに変更を適用します。

ヘルプ: ローカル、またはオンラインの HTML ベースのヘルプに接続します。各コントロールに関連したテキスト上にマウスを移動して、状況依存ヘルプを表示することもできます。

複数モニタ コントロール

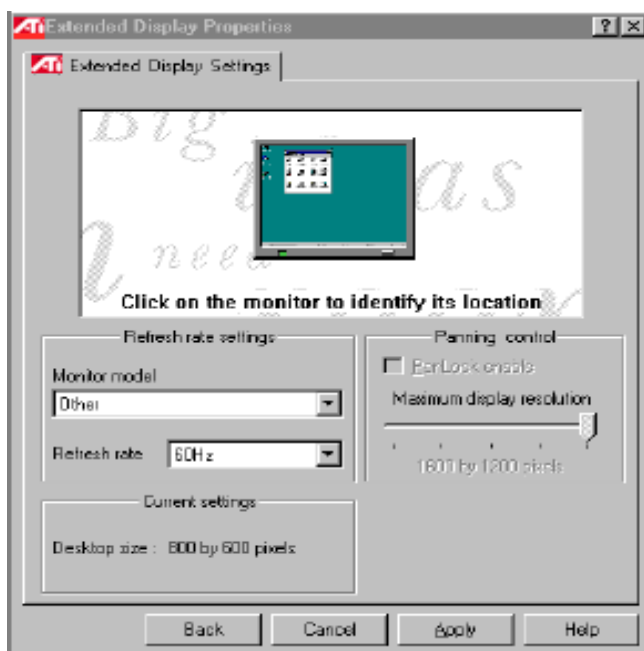


[複数モニタ] ダイアログ

[複数モニタ] ダイアログは、現在のモニタの配列をグラフィカルに表示します。モニタの図を新しい場所にドラッグして、配列を変更することができます。また、リストボックスの番号をダブルクリックして、モニタを有効/無効に設定することも可能です。

使用できるリフレッシュレートとその他の設定は、[拡張画面設定] ダイアログ ボックスに表示されます。[拡張画面設定] ダイアログは、各モニタの図をダブルクリックすると起動します。

拡張画面設定



[拡張画面設定] ダイアログ

更新頻度 (リフレッシュレート) の設定


モニタの機種 — ドロップダウンメニューから使用しているモニタの機種とメーカーを選択すると、ATI[®] HydraVision™ が自動的に適切なリフレッシュレートを決定します。これにより、サポートされていないリフレッシュレートの選択を防ぐことができます。お使いのモニタがドロップダウンメニューになくても、マルチシンクモニタであれば RADEON™ VE グラフィックカードを使用することができます。リストにないモニタは、[その他] を選択して、リフレッシュレートを手動で選択してください。

☒ 警告! モニタがサポートしていない更新頻度を選択しないでください。モニタが損傷する可能性があります。

更新頻度 — 上記の説明にあるように、ATI® HydraVision™ は選択された機種に基づいて、適切なリフレッシュ レートを自動的に決定します。各モニタに対してドロップダウンメニューから異なるリフレッシュ レートを選択することもできます。一般的に、リフレッシュ レートが高くなると画質は向上しますが、性能は低くなります。これは、グラフィック システムが 1 秒間に固定した処理回数しか行わないので、画面の再描画に時間が費やされると、他の処理にかける時間が少なくなるためです。

現在の設定：

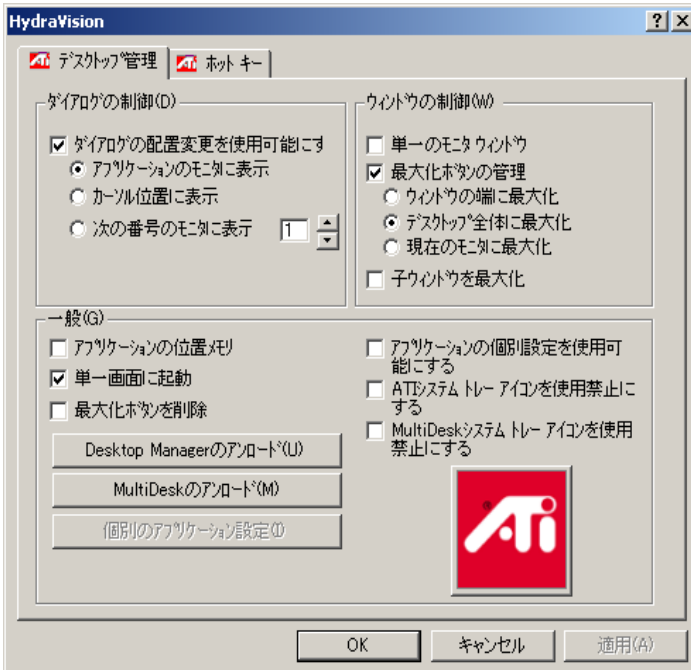
このボックスは、モニタの現在の解像度を示します。デスクトップ サイズを変更するには、Windows® の [画面のプロパティ] ダイアログボックスの [設定] タブで、スライダバーを使って [画面の領域] を変更します。

 注意: Windows® [設定] ダイアログでは、デスクトップの解像度を設定できません。

水平移動の制御：

水平移動は、Windows®NT 4.0 では使用できません。

デスクトップ管理コントロール



[デスクトップ管理] ダイアログ

[デスクトップ管理] ダイアログで、マルチモニタ環境のポップアップウィンドウとダイアログボックスの動作を設定します。

ダイアログの制御:


ダイアログの配置変更を使用可能にする — ダイアログの制御をオン・オフで切り替えます。このボックスがチェックされていると、親アプリケーションのモニタにダイアログボックスを表示できます(親アプリケーションとはダイアログボックスを生成するアプリケーションです)。親アプリケーション、または関連付けられたモニタが見つからない場合、ダイアログボックスはモニタ1に設定されます。また、カーソルの位置するモニタにダイアログボックスを表示したり、常に特定のモニタに表示させることもできます。

☞ **注意:** Windows® システム ログオンとログオフのメッセージは、配置変更をすることはできません。[単一画面に起動]が有効ではない場合、常にモニタにまたがって表示されます(下記を参照)。

ウィンドウの制御:

単一のモニタ ウィンドウ — このボックスがチェックされていると、ウィンドウは1つのモニタに表示されます。モニタにまたがったウィンドウは、そのウィンドウがより大きく表示されているモニタへ自動的に移動します。

最大化ボタンの管理 — Windows® の [最大化] ボタンの動作を制御できます。通常の Windows® 環境で [最大化] ボタンをクリックすると、ウィンドウがフルデスクトップに拡大されます。

 **注意:** この設定に関係なく、アプリケーションのタイトルバーにある ATI® HydraVision™ アイコンをクリックすると、アクティブ ウィンドウは現在のモニタ画面いっぱいに表示されます。

- **デスクトップ全体に最大化:** ウィンドウの左上と右下の端が含まれるモニタにウィンドウを最大化します。

- **デスクトップ全体に最大化:** すべてのモニタを含む全体にウィンドウを最大化します。

- **現在のモニタに最大化:** ウィンドウの最大部分が含まれるモニタにウィンドウを最大化します。

一般:

アプリケーションの位置メモリ — このボックスをチェックすると、アプリケーション ウィンドウを閉じたときのサイズと位置を「記憶」します。アプリケーションが再起動されると、この設定が適用されます。

単一画面に起動 — このボックスをチェックすると、単一画面モードでシステムを起動します。これは、起動中のシステム メッセージと Windows® スプラッシュ画面がモニタにまたがって表示されるのを防ぎます。ログオンして、Desktop Manager がロードされると、ディスプレイはマルチモニタ モードに切り替わります。

ATI® HydraVision™ 最大化ボタンを削除 — このボックスをチェックすると、全アクティブ アプリケーションのタイトルバーの右上に表示される ATI® HydraVision™ アイコンを無効にして、削除します。このアイコンで、アクティブ ウィンドウを最大化したり、アプリケーションの個別設定を行います。

アプリケーションの個別設定を使用可能にする — このボックスをチェックすると、個別のアプリケーションに対してデスクトップ管理の設定を指定することができます。アプリケーションのタイトルバーにある ATI® HydraVision™ アイコンの下矢印をクリックするか、[デスクトップ管理] ダイアログの [個別のアプリケーション設定] ボタンをクリックして、これらの設定にアクセスすることができます。

ATI® HydraVision™ システム トレー アイコンを使用禁止にする — このボックスは、ATI® HydraVision™ のシステム トレー アイコンを削除、または復元します。

MultiDesk システム トレー アイコンを使用禁止にする — このボックスは、MultiDesk の トレー アイコンを削除、または復元します。

Desktop Manager のロード/アンロード — このボタンは、ATI[®] HydraVision™ Desktop Manager を復元、または削除します。Desktop Manager をアンロードすると、ディスプレイ設定が Windows[®] のデフォルト設定値に戻ります。マルチモニター ダイアログ ボックスとウィンドウの制御、またはホット キーを使用したくない場合のみ、このオプションを選択してください。

☞ *注意:* [アンロード] は、現在使用中の Windows[®] のセッションにのみ適用されます。Windows[®] が再起動されると、Desktop Manager はリロードされます。

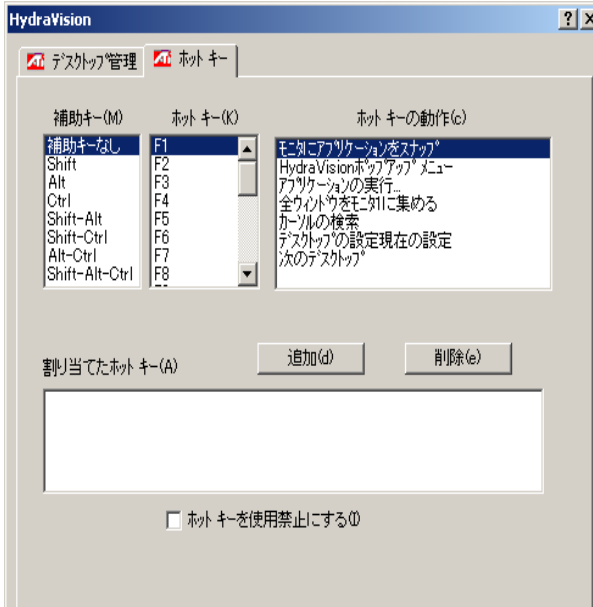
MultiDesk のロード/アンロード — このボタンは、マルチデスクトップ機能を復元、または削除します。

☞ *注意:* [アンロード] は、現在使用中の Windows[®] のセッションにのみ適用されます。Windows[®] が再起動されると、MultiDesk はリロードされます。

アプリケーションの個別設定 — このボタンは、個別のアプリケーションに対してデスクトップ管理の設定を指定、および有効/無効にできます。

☞ *注意:* これらの設定は、[デスクトップ管理] ダイアログで定義されたグローバルな設定を上書きします。

ホット キー コントロール



[ホット キー] ダイアログ

[ホット キー] ダイアログでは、アプリケーションの起動、特定のモニタへのアプリケーションのスナップ、ディスプレイ解像度の変更など、一般的な操作にホット キー ショートカットを指定することができます。

ホット キーを作成 / 削除する

カスタム ホット キーを作成するには、補助キー (Shift、Alt など)、ホット キー、実行するホット キーの機能を選択します。[追加] をクリックして、新しい組み合わせを [割り当てたホット キー] リスト ボックスに入力します。そして、[適用] をクリックして、割り当てたホット キーを有効にします。

注意: ファンクションキー (F1、F2 など) をホット キーとして割り当てて補助キーと使用することを推奨します。これは、各アプリケーションでこれらのキーに設定された機能との衝突を避けるためです。

[割り当てたホット キー] リスト ボックスからホット キーを削除するには、ホット キーをハイライトし、[削除] をクリックしてから、[適用] をクリックします。

また、[ホットキー]ダイアログの下部にある[ホットキーを使用禁止にする]ボックスをチェックして、[割り当てたホットキー]リストボックスにある全ホットキーを無効にすることもできます。

ホットキーを使用する

割り当てられたホットキーをあらゆるアプリケーションから使用して画面を変更することができます。

提供されるホットキーの機能を示します：

モニタにアプリケーションをスナップ — アクティブウィンドウやダイアログをモニタから別のモニタに移動したり、「スナップ」して素早く配置したり、デスクトップの内容を表示します。

ATI® HydraVision™ ポップアップメニュー — ATI® HydraVision™ コントロールに素早くアクセスします。

アプリケーションの実行 — ホットキーでアプリケーションを起動できます。

全ウィンドウをモニタ 1 に集める — 無効のモニタに隠れていたり、または開いていても見失ったアプリケーションを見つけます。

カーソルの検索 — 色々と表示されているデスクトップからカーソルを見つけます。

次のデスクトップ — 他のアクティブデスクトップにアクセスします(下記を参照)。

画面の縮小/拡大 — デスクトップの解像度を上げたり、落としたりします。

デスクトップの設定現在の設定 — モニタの配置、デスクトップの解像度、モニタごとの解像度およびリフレッシュレートを含む、特定のデスクトップ構成をすべて保存してホットキーに割り当てます。

MultiDesk

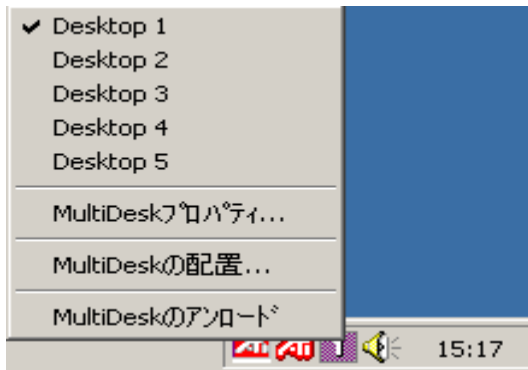
ATI® HydraVision™ ソフトウェアは、マルチデスクトップをサポートしています。MultiDesk を使用すると、1 つのアクティブデスクトップが常に表示され、8 つまでのアクティブデスクトップをバググラウンドに表示できます。MultiDesk が起動している場合、システムトレイの MultiDesk アイコンに現在のデスクトップに割り当てられた数が表示されます。

ATI® HydraVision™ MultiDesk アイコン



MultiDesk システム トレー アイコン

このアイコンを右クリックして MultiDesk コントロールにアクセスします。また、**ホットキー** ショートカットでアクティブデスクトップにアクセスすることも可能です。



MultiDesk ポップアップメニュー

定義された別のデスクトップに切り替えるには、ポップアップメニューから該当するデスクトップ番号を選択します。アクティブデスクトップを有効/無効にしたり、名前を設定するには、ポップアップメニューから **[MultiDesk プロパティ]** を選択します。アクティブデスクトップ内でアプリケーションを配置したり、特定のアプリケーションを全デスクトップで有効にするには、ポップアップメニューから **[MultiDesk の配置]** を選択します。

🌀 **注意:** これは、現在使用中の Windows® セッションにのみ適用されます。Windows® が再起動されると、MultiDesk はリロードされます。



TV Out の使い方

コンピュータの画面をテレビで表示！

RADEON™ ベースの VE カードには TV Out 機能が用意されています。カードを、テレビおよびモニタに接続して機能を利用できます。または、カードをビデオに接続して、モニタの画面を録画することもできます。

テレビ表示はゲームを楽しんだり、プレゼンテーションを行ったり、映画を鑑賞したり、インターネットをブラウズするのに最適です。以下のヒントを参考にして、TV Out 機能を最大限にご活用ください。

ヨーロッパのお客様への重要な情報



最初にお読みください

- ヨーロッパのコンピュータ モニタには、テレビ表示と同時に使用できないものがあります。ヨーロッパでテレビ表示を有効にすると、モニタとテレビのリフレッシュ レートは 50Hz に設定されます。モニタがこのリフレッシュ レートをサポートしていない場合、モニタに損傷が出る場合があります。

モニタの説明書をお読みになり、お使いになっているモニタが 50Hz のリフレッシュ レートをサポートしているかどうかご確認ください。モニタが 50Hz のリフレッシュ レートをサポートしていない場合（またはわからない場合）、テレビをディスプレイとして使用するときは、コンピュータの電源を入れる前に、モニタの電源を切ってください。

テレビ表示を無効にする方法については、[テレビ表示を有効 / 無効にする](#) (27 ページ) を参照してください。

- ヨーロッパのテレビには SCART 接続を使用しているものがあります。SCART を使用している場合は、RADEON™ をテレビに接続する前に、[ヨーロッパテレビ用 SCART コネクタを使用する](#) (26 ページ) をお読みください。

RADEON™ とテレビまたはビデオの接続

グラフィック カードとテレビまたはビデオを接続するには、テレビ (またはビデオ) と RADEON™ VE を S- ビデオ ケーブルで接続します。しかし、ほとんどのテレビ (およびビデオ) には、コンポジット ビデオ入力が用意されているため、付属の S- ビデオをコンポジット ビデオアダプタに使用できます。ケーブル入力しかない古いテレビを使用する場合でも、ビデオまたは RF 変調器 (ほとんどの電化製品店で入手できます) を使用して RADEON™ VE とテレビを接続できます。

RADEON™ VE TV Out とテレビまたはビデオを接続する

- 1 コンピュータとテレビ (またはビデオ) の電源を切ります。
- 2 グラフィック カードが正しくインストールされていることを確認します。
テレビ表示を使用するには、システムに拡張 ATI ドライバ (バージョン 6.0 またはそれ以降) をインストールする必要があります。コンピュータへのカードの設置方法と拡張 ATI ドライバのインストール方法に関する情報は、「Radeon™/Radeon™ VE - はじめに」ガイドを参照してください。
- 3 テレビ (またはビデオ) で S- ビデオまたはコンポジット ビデオ接続のどちらを利用するか決定します。
- 4 コンピュータの背面を見て RADEON™ VE カードの位置を確認します。S- ビデオ ケーブルまたは付属のアダプタ ケーブルを使用して、ケーブルの一端をグラフィック カードに、もう一端をテレビ (またはビデオ) に接続します。(「**図 1. ATI RADEON™ VE カードにテレビ (またはビデオ) を接続する**」を参照してください。)
- 5 コンピュータとテレビ (またはビデオ) の電源を入れます。
- 6 テレビ表示のオン/オフを切り替えるには、**テレビ表示を有効/無効にする** (27 ページ) を参照してください。

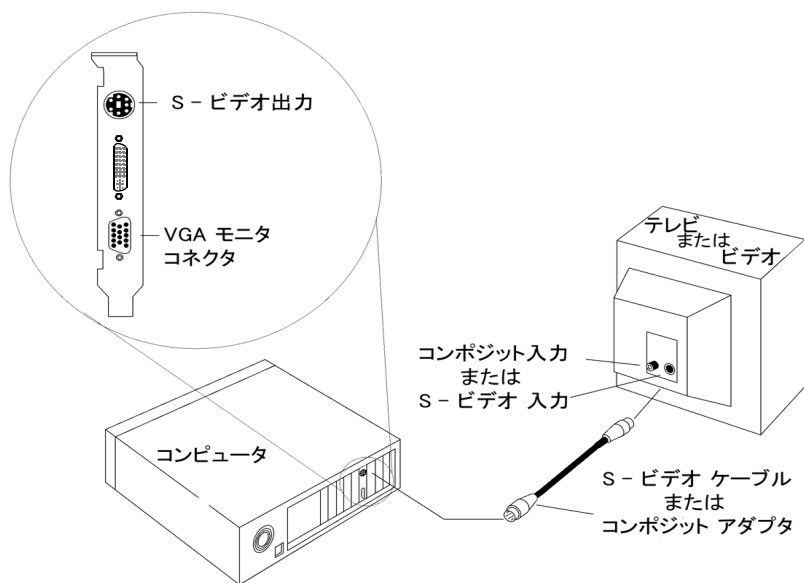


図 1. ATI RADEON™ VE カードにテレビ(またはビデオ)を接続する

ヨーロッパ テレビ用 SCART コネクタを使用する

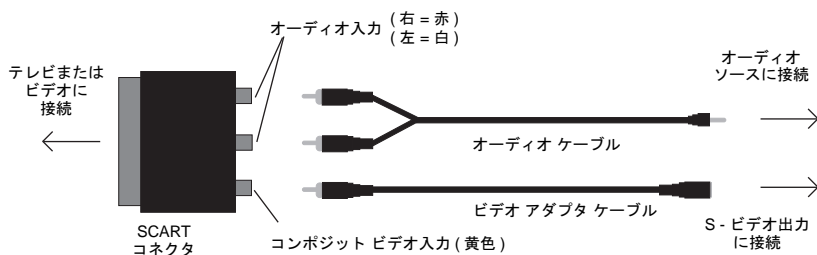


図 2. SCART コネクタとビデオ アダプタ ケーブルの接続方法

SCART コネクタは、コンポジット ビデオ形式のみをサポートしているため、ビデオアダプタ ケーブルを使用しなければなりません。図 2 に、SCART コネクタを使用して RADEON™ VE とヨーロッパのテレビの接続方法を示します。

ご使用になっているヨーロッパのテレビが S- ビデオ (S-VHS) ビデオ入力をサポートしている場合は、S- ビデオ ケーブル (ほとんどの電化製品店で購入できます) を使用できます。

TV Out の使用と調整

テレビ表示を有効 / 無効にする

- 1 [スタート] をクリックします。
- 2 [設定] をポイントし、[コントロールパネル] をクリックします。
- 3 [画面] をダブルクリックします。
- 4 [設定] タブをクリックしてから [詳細 ...] ボタンをクリックします。
- 5 [ATI 画面] タブをクリックします。
- 6 “テレビ” の横にある緑の [有効 / 無効] ボタンをクリックして、テレビディスプレイのオン / オフを切り替えます。
テレビに何も表示されない場合、ビデオディスプレイモードに切り替える必要があります。詳細は、テレビの説明書を参照してください。テレビがビデオに接続されている場合、テレビをビデオ出力に合わせる必要があります。テレビとビデオの接続方法に関しては、ビデオの説明書を参照してください。
- 7 [適用] をクリックして変更を保存します。
テレビ表示と [ATI 画面のプロパティ] ページの使い方を見るには、[ヘルプ] ボタンをクリックしてください。

テレビ表示を有効にして Windows® を起動する

テレビ画面は、Windows® ロゴが表示されている間、一時的に表示が乱れます。これは一時的に発生する現象で、テレビ画面は数秒たつと正常に表示されるようになります。

起動時に、RADEON™ VE は、テレビ表示のモード設定を順番に行います。処理には数秒かかりますが、この処理により、テレビ表示が正しく設定されます。

モニタ vs テレビ表示

テレビをコンピュータのディスプレイとして使用するのには、ゲームを楽しんだり、プレゼンテーションを行ったり、映画を鑑賞したり、インターネットをブラウズするのに最適です。しかし、この場合、モニタの表示が変化したり、つぶれたりします。これは、表示をテレビのサイズに合うように調整しているためです。モニタの表示を正常にするには、モニタのコントロール ボタンを使用して、サイズや位置の設定を行ってください。

固定周波数のモニタは、テレビ表示を有効にすると動作しなくなる場合があります。テレビ表示を有効にすると問題が発生する場合は、テレビ表示を無効にするようにしてください。

モニタ表示を調整する

テレビ表示が有効になっていると、モニタの表示サイズが小さくなったり、中心がずれたりする場合があります。これらの現象は、テレビ表示が正しくなるよう必要な変更を行った場合に発生します。

モニタの表示のみを調整するには、[画面のプロパティ] ページ ([ATI 画面] タブの [モニタ] ボタンをクリックして表示できます) の [調整] タブで利用可能なコントロールを使用します。テレビ表示のみを調整するには、[テレビ] ボタンをクリックします。

テキストをテレビで表示する

テレビとコンピュータのモニタでは、異なる技術が使用されているために、標準的なコンピュータのテキストは、テレビでは小さく表示されます。この問題は、表示フォントを大きくすることで解決できます。

表示フォントを大きくするには

- 1 [スタート]をクリックします。
- 2 [設定]をポイントし、[コントロールパネル]をクリックします。
- 3 [画面]をダブルクリックします。
- 4 [設定]タブをクリックしてから[詳細...]ボタンをクリックします。
- 5 [全般]タブを選択します。
- 6 [フォントサイズ]ボックスで、新しいフォントサイズを選択します。
- 7 [適用]をクリックしてから、画面の指示に従って新しい変更を保存します。

歪みを減らす

テレビをコンピュータのディスプレイとして使用していると、テレビのスクリーンの左端および右端に歪みが生じる場合があります。この現象は、テレビと実行しているアプリケーションの組み合わせによって発生します。

歪みを減らすには、テレビディスプレイの水平サイズを大きくします。

水平サイズを大きくするには

- 1 [スタート]をクリックします。
- 2 [設定]をポイントし、[コントロールパネル]をクリックします。
- 3 [画面]をダブルクリックします。
- 4 [設定]タブをクリックしてから[詳細...]ボタンをクリックします。
- 5 [ATI画面]タブをクリックします。
- 6 [テレビ]ボタンをクリックします。
- 7 [調整]タブをクリックします。
- 8 水平画面のプラス (+) ボタンをクリックしてテレビ表示の水平サイズを大きくします。
- 9 [適用]をクリックして変更を保存します。

歪みは、テレビの明るさを変更して減らすこともできます。

明るさを変更するには

- 1 [スタート]をクリックします。
- 2 [設定]をポイントし、[コントロールパネル]をクリックします。
- 3 [画面]をダブルクリックします。
- 4 [設定]タブをクリックしてから[詳細...]ボタンをクリックします。
- 5 [ATI画面]タブをクリックします。
- 6 [テレビ]ボタンをクリックします。
- 7 [明るさ]スライダを左にドラッグして画面を暗くします。
- 8 [適用]をクリックして変更を保存します。

ディスプレイ設定を変更する

コンピュータをテレビ表示のみが可能な場所へ移動した場合は、テレビ表示機能が有効になっていることを確認してください。テレビ表示を有効にするには、**テレビ表示を有効 / 無効にする** (27 ページ) を参照してください。

ディスプレイモードをより高い解像度に変更すると、テレビ表示は 800x600 以上のモードでは無効になります。表示デバイスがテレビのみで、高いモードを選択すると、テレビに何も表示されなくなり

ます。ESC キーを押すか、15 秒待つと画面が元の状態に戻ります。表示が元に戻らない場合は、コンピュータにモニタを接続して、テレビ表示が正しく行われるように設定してください。

ゲームとアプリケーションを使用する

古いゲームやアプリケーションには、特定のディスプレイ モードで実行するために RADEON™ VE カードを直接制御しているものがあります。この場合、画面が自動的に表示されなくなったり、おかしく表示されてしまうことがあります (モニタには影響ありません)。ゲームを終了するか、システムを再起動すると、テレビ表示は元の状態に戻ります。